

5. 県内のスムーズな移動

観光案内サインの充実

初めて奈良を訪れる国内外の観光客が、迷うことなく目的地に到達でき、奈良の観光資源を楽しみながら、円滑かつ快適に観光地めぐりができるように、県境及び主要交差点での車両系観光案内サインや、各観光エリア内での歩行者系観光案内サインを設置しています。

[観光案内サイン整備ガイドライン (H28年4月改定)]

《観光エリア》

- ・奈良公園エリア
- ・平城宮跡エリア
- ・飛鳥エリア
- ・五條新町エリア 他



■わかりやすい案内サイン設置例 (奈良公園)



■4カ国語で表記された案内サイン

道の駅

「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供、地域のにぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトにしています。駅ごとに地方の特色や個性を表現し、文化などの情報発信や様々なイベントを開催することで利用者が楽しめるサービスを提供しています。

道の駅の3つの機能



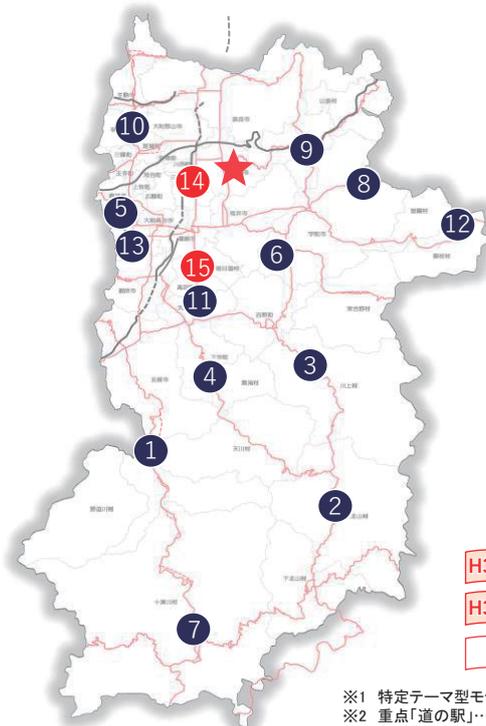
■ふたかみパーク當麻



■吉野路上北山



■宇陀路室生



奈良県内の道の駅(15駅) [全国1,160駅(令和元年6月時点)]

- 168 吉野路大塔 [五條市]
- 169 吉野路上北山 [上北山村]
- 169 杉の湯川上 [川上村]
- 309 吉野路黒滝 [黒滝村] **特定テーマ型モデル「道の駅」※1**
- 165 ふたかみパーク當麻 [葛城市]
- 166 370 宇陀路大宇陀 [宇陀市] **重点「道の駅」候補※3**
- 168 十津川郷 [十津川村]
- 165 宇陀路室生 [宇陀市]
- 25 針TRS [奈良市]
- 168 大和路へぐり [平群町]
- 169 吉野路大淀iセンター [大淀町]
- 368 369 伊勢本街道御杖 [御杖村]
- 166 かつらぎ [葛城市] **重点「道の駅」※2**
- H30.4オープン 14 24 レスティ唐古・鍵 [田原本町] **重点「道の駅」候補※3**
- H30.9オープン 15 169 飛鳥 [明日香村]
- 県整備中 ★ 25 なら歴史芸術文化村 [天理市] **重点「道の駅」※2**

※1 特定テーマ型モデル「道の駅」…特定のテーマについて、全国の模範となる取組を行い、成果が認められるものとして、国土交通省が認定。
 ※2 重点「道の駅」…地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、国土交通省が選定。
 ※3 重点「道の駅」候補…地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるものとして、地方整備局等が選定。

6. 自転車周遊環境の整備

「京奈和自転車道」は、京都府・和歌山県と連携して取り組む、京都・嵐山から和歌山港に至る全長約180kmの広域サイクリングルートです。

奈良県内は奈良市から五條市へ至る延長約75kmの区間で、既存の自転車道や佐保川の河川敷などを活用して整備を進めています。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される令和2年度の概成を目指して整備を進めており、引き続き、案内誘導・注意喚起のサインや路面標示等の整備を進めていきます。

整備完了区間

- 大和郡山市内 (約4km)



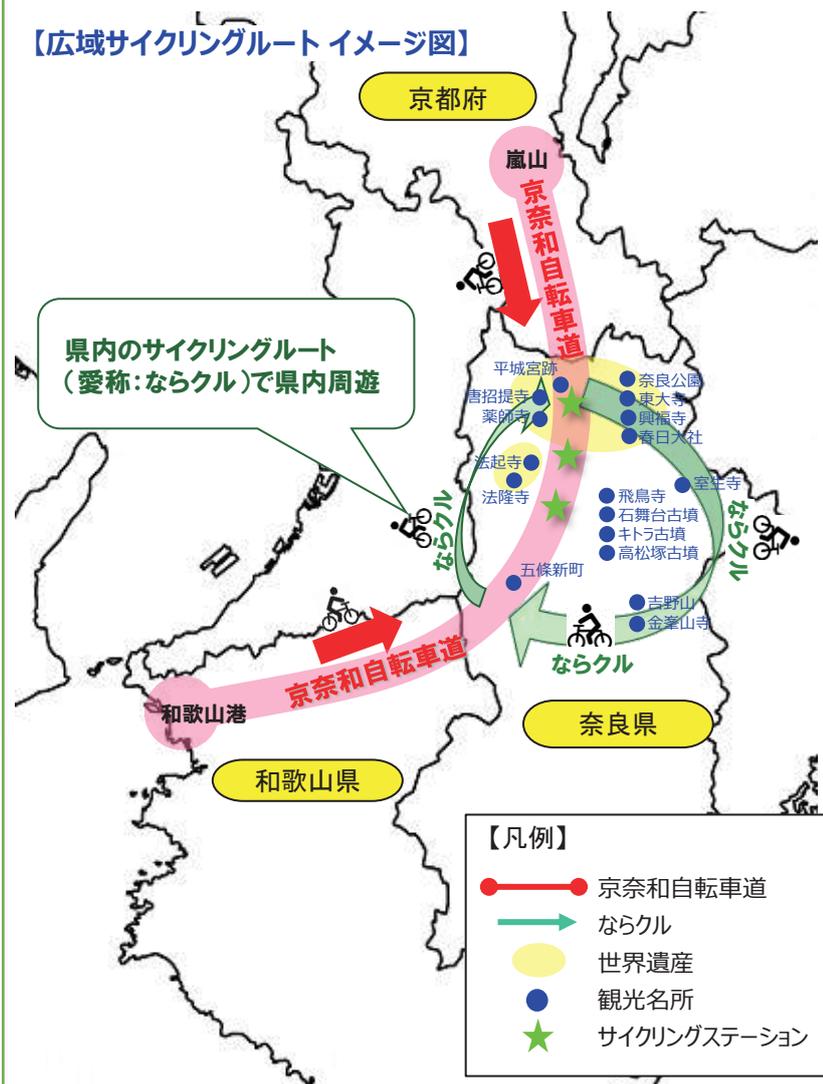
- 五條市内 (約15km)



休憩施設やメンテナンススペースなどをそなえた、周遊観光の拠点となる「サイクリングステーション」を県内で3箇所整備しています。

また、自転車を安心して保管でき、自転車搬送サービスの取り次ぎが可能な宿泊施設を「サイクリストに優しい宿」として県内55箇所、空気入れやトイレの提供等のサービスが可能な施設を「自転車の休憩所」として、県内176箇所を認定するなど、自転車利用環境の創出に取り組んでいます。

【広域サイクリングルートイメージ図】



【京奈和自転車道の整備イメージ】



■案内誘導のサイン等

■整備イメージ

案内誘導・注意喚起のサインや路面標示等によりルートを案内します。

【サイクリングステーション (県内3箇所)】



【サイクリストに優しい宿 (県内55箇所)】



7. リニア中央新幹線 ～三重・奈良・大阪ルート of 早期実現に向けて～

リニア中央新幹線について

リニア中央新幹線は、東京都から甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、**奈良市附近**を経由し大阪市までの約438kmを、我が国独自の技術である超電導リニアにより結ぶ新たな新幹線です。

世界でも有数の人口集積地域である三大都市圏を新しいルートで結ぶリニア中央新幹線は、沿線地域のみならず我が国全体に活力をもたらす、更に国土の構造の強靱化の観点からも欠くことのできない国家的プロジェクトであり、平成23年に決定された整備計画通り、「**奈良市附近**」を主な経過地とした「**三重・奈良・大阪ルート**」の**早期開業**に向け、関係者一体となった取組を行ってまいります。

● リニア中央新幹線のルートとこれまでの経緯

■ リニア中央新幹線ルート概念図



■ 整備計画

建設線	中央新幹線
区間	東京都・大阪市
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505キロメートル/時
建設に要する費用の概算額	90,300億円
その他必要な事項(主要な経過地)	甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、 奈良市附近

平成30年度に引き続き「建設主体が全線の駅・ルートの公表に向けた準備を進められるよう、必要な連携、協力を行う。」と位置づけられる

「骨太の方針2019」が閣議決定【国】(令和元年6月)

財政投融资を活用した貸付を実施【国】(平成28年11月～平成29年7月)

着工【J R 東海】(平成26年12月)

全線開業時期の最大8年間前倒しが図られる。

東京都・名古屋市間の環境影響評価【J R 東海】(平成23年6月～平成26年8月)

整備計画の決定【国】(平成23年5月)

基本計画の決定【国】(昭和48年11月)

奈良市附近を主要な経過地として決定

【東京都・名古屋市間】
 計画段階環境配慮書(平成23年6月、8月)
 ⇒ ルートを3km幅、駅の概略位置を直径5km円で提示
 環境影響評価準備書の公告(平成25年9月)
 ⇒ 詳細なルート及び駅位置を提示

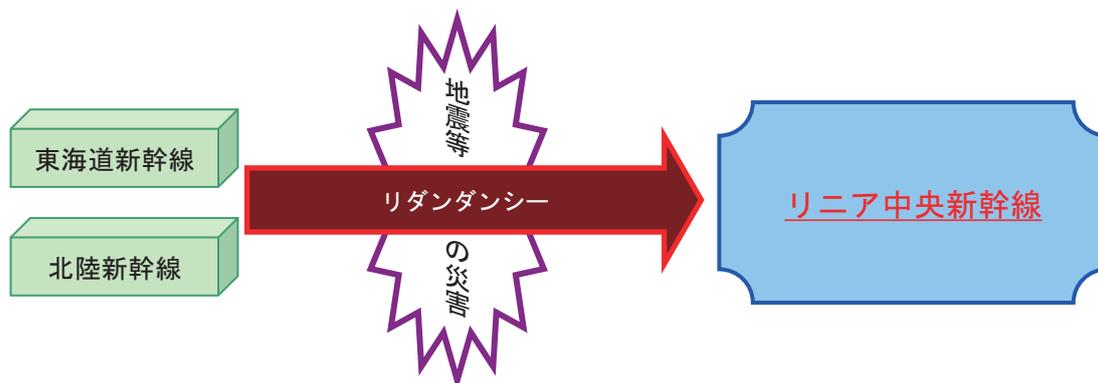
● リニア中央新幹線整備の基本的な考え方

① リニア中央新幹線の開業を見据えたまちづくり

「奈良市附近」の駅位置が確定すれば、駅周辺のまちづくりの具体的な検討と、周辺地区の計画的な整備を進めることができ、将来のまちづくりのための民間投資を前倒しして呼び込むことができます。

② 災害に強い国土づくりに向けた三重・奈良・大阪ルートによるリダンダンシーの確保

名古屋・大阪間は、鉄道、道路とも並行した形態で供用されており、東海道新幹線との日本の大動脈の二重化（リダンダンシーの確保）による災害に強い国土を形成することが必要です。



● 令和元年度の主な取組

○ 早期開業の機運醸成に向けた要望活動・広報活動

法に基づく整備計画通り、「奈良市附近」の駅位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定、そのための名古屋・大阪間の環境影響評価の早期着手等に向け、三重県・大阪府の行政や経済団体等と連携しながら、国・JR東海等関係機関に対する要望活動、建設促進に向けた広報啓発を行っています。



■ 三重県・大阪府との連携



■ 国に対する要望活動



■ 東京メトロ 丸ノ内線 霞ヶ関駅での広報



■ デジタルサイネージによる広報

リニア中央新幹線 三重・奈良・大阪ルート

検索

8. ならのまちづくり

ならのまちづくりについて

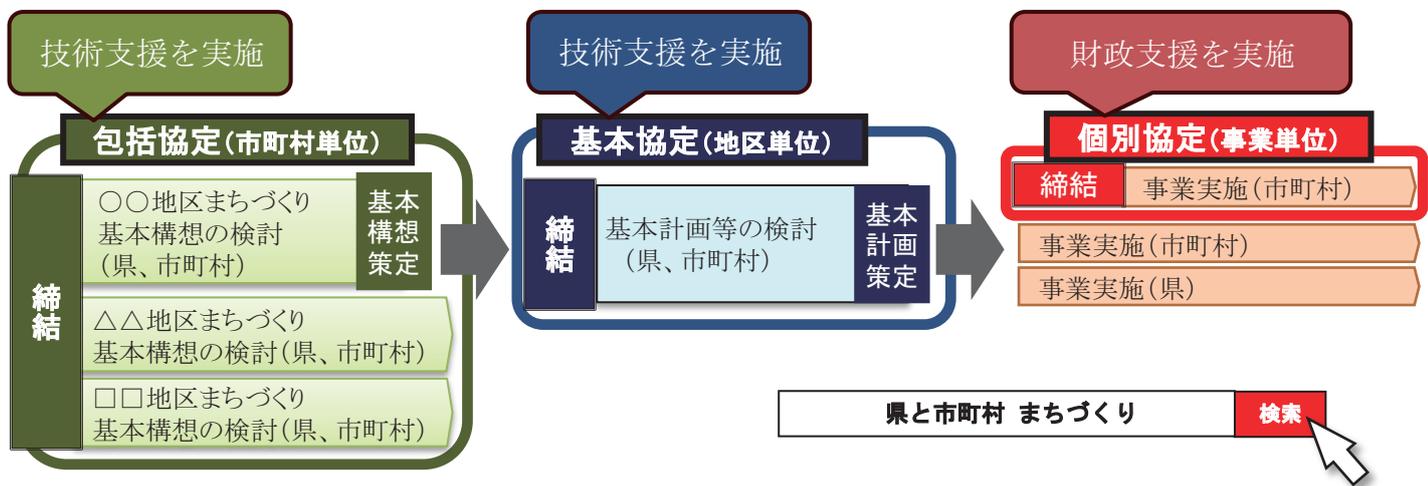
人口の急激な減少と高齢化が進展する状況においては、高齢者をはじめとする住民が安心できる健康で快適な生活環境を実現することが重要です。

そのため、地域性を活かした、にぎわいのある住みよいまちづくりを進め、その中心となる拠点への都市機能の集積や低未利用地の活用など、拠点を再整備することが必要です。

県が市町村と連携協定を締結することで、県の方針と合致するプロジェクトが県内各地区で進みます。また、県道や県有施設の整備活用といった県事業と市町村のまちづくり事業を一体的に実施することで、事業の相乗効果が見込まれます。

●まちづくりの進め方

プロジェクトの進捗に合わせ、包括協定、基本協定、個別協定と、段階的に協定を締結し、市町村のまちづくりを支援しています。



●県と市町村とのまちづくり協定の締結状況

27市町村(55地区)と包括協定を締結 (H31年3月末現在)



- ・ H26.10.17 天理市
- ・ H26.11.19 大和郡山形市
- ・ H26.12.22 桜井市
- ・ H27.1.23 奈良市
- ・ H27.2.20 五條市
- ・ H27.3.20 橿原市
- ・ H27.7.6 大和高田市
- ・ H27.7.31 高取町
- ・ H27.8.4 御所市
- ・ H27.9.17 三宅町
- ・ H27.10.15 明日香村
- ・ H27.12.25 宇陀市
- ・ H28.2.22 大淀町
- ・ H28.8.2 川西町
- ・ H28.8.18 王寺町
- ・ H28.9.2 御杖村
- ・ H29.2.16 川上村
- ・ H29.2.27 広陵町
- ・ H29.3.14 東吉野村
- ・ H29.3.16 十津川村
- ・ H29.5.29 田原本町
- ・ H29.9.28 上北山村
- ・ H29.10.11 吉野町
- ・ H30.3.22 斑鳩町
- ・ H30.4.11 山添村
- ・ H30.4.11 下北山村
- ・ H31.2.20 黒滝村



■御所マルシェの様子



■賑わい広場の整備イメージ

御所市との個別協定に基づき、奈良県の農・林・食の効果的なPRと地域の賑わいづくりを目的とし、御所駅周辺でマルシェ(生産者による農産物や加工品の直接販売や、県産食材を使用した飲食を提供する野外イベント)が実施されています。

五條市との個別協定に基づき、新庁舎へのアクセス道路の整備や、市民等が集う賑わい広場の整備が進められています。

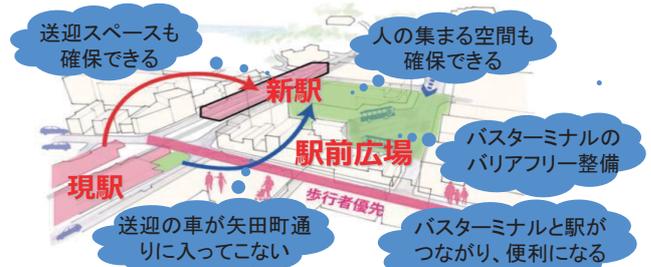
まちづくりの事例紹介

●近鉄郡山駅周辺地区のまちづくり

「城下町の風情を活かし、いきいき暮らせるまちづくり」をコンセプトに、地区内の自動車交通をできる限り抑制し、歩いて暮らせる安心・安全で快適な生活環境の実現に向け、県と市が連携して、まちの課題解決を目指します。

《主な取組の例》

- ・ 駅を北側に移設し、市の玄関口にふさわしい駅・駅前空間を創出
- ・ 城下町の資源を活用した地域の活性化と多様なまちづくりの担い手育成
- ・ 地区内道路・交通を見直し、歩いて楽しむ回遊動線の整備



●医大・周辺地区のまちづくり

県立医大の教育・研究部門の移転に伴う病院周辺まちづくり構想の検討を進めています。

現在、医大附属病院周辺に新駅を誘致し、「医大隣接の利点を活かした新駅誘致による賑わいのある健康増進のまち」を目指し、橿原市と協働して基本構想の策定を進めています。



■医大・周辺まちづくりプロジェクト概要図

●公共施設での花いっぱい運動事業

景観に配慮し、花と緑を育てる活動の定着・発展を目指して、県が管理する施設の敷地内及びその周辺で、花壇の整備・プランターへの花植え等を行い、住民の皆様との協働による花と緑があふれる地域づくりを推進しています。令和元年度は県総合庁舎、県立高等学校等の20施設で実施しています。



■高等養護学校(田原本町)

9. 大宮通り周辺のにぎわいづくり

大宮通り周辺のにぎわいづくり

観光地奈良の魅力を一躍的に向上させるために、大宮通り周辺のにぎわいづくりを進めています。

The map shows the area around Ōmiya Street in Nara City, with 8 numbered project locations marked in red circles. The map includes major roads like Route 24, Route 308, Route 369, and Route 169, and landmarks like the Nara River, Nara Park, and various temples. A north arrow and a note about the map source are also present.

- 1** 平城宮跡歴史公園朱雀門ひろば
H30年3月24日オープン
- 2** 大宮通り新ホテル・交流拠点整備
R2年春まちびらき予定
- 3** 大宮通りの花植え（地域と協働）
- 4** 奈良公園バスターミナル
H31年4月13日オープン
- 5** 旧奈良監獄の保存・活用（法務省）
完成イメージ
R4年全施設供用予定
- 6** ぐるっとバスの運行
- 7** 吉城園周辺地区整備
完成イメージ
- 8** 高畑町裁判所跡地整備
完成イメージ
R2年春まちびらき予定

年間を通じ、様々なイベントを開催しています



■大宮通りイルミネーション



■天平祭（平城宮跡）



■ぐれーとさまあーふえすたならまち遊歩

大宮通り新ホテル・交流拠点整備

奈良公園と平城宮跡の中間に位置する約3.2haの県有地（奈良市三条大路一丁目）を活用して、国際ブランドホテル「JWマリオットホテル奈良」の誘致、NHK奈良放送局の移転と併せて、県がコンベンション施設、屋内多目的広場、屋外多目的広場、バスターミナル、駐車場や、奈良らしさを感じていただける観光振興施設等を整備し、奈良の新たな滞在型観光交流拠点づくりを進めます。

R 2 年 春 ま ち び ら き 予 定



平城宮跡歴史公園拠点ゾーンの整備

奈良県では、平成20年の閣議決定に基づき、「古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代を今に感じる”空間」を基本理念に、国営公園事業と連携し、県営公園区域の整備を進めています。

平成30年3月には、飲食物販施設（奈良県整備）やガイダンス施設（国土交通省整備）を配置した「平城宮跡歴史公園 朱雀門ひろば」をオープンし、平城宮跡での利便性は格段に向上しています。平成30年度からは、朱雀大路東側の「歴史体験学習館」の検討に着手しており、奈良県全体にかかる歴史・文化情報の発信や交流の会場となる施設の整備計画を策定します。

また、朱雀門ひろばの南側に隣接する積水化学工業（株）の工場跡地は、歴史・文化資源としての意義が大きく、観光・交流資源としてのポテンシャルが大きいことから、同社及び奈良市、奈良県の3者が包括連携協定を締結しており、跡地活用方策の検討を進めます。



9. 大宮通り周辺のにぎわいづくり

奈良公園周辺整備

奈良公園周辺では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、全ての旅行者がストレスなく快適に観光を満喫できる「おもてなし環境」を整備するため、奈良公園の魅力を上向きさせるプロジェクトを推進しています。

● 高畑町裁判所跡地・吉城園周辺地区の整備

奈良公園周辺にある未利用の空間に、民間活力を最大限活用して宿泊施設等を整備することで、これまで維持管理が難しかった名勝の価値をさらに高めるとともに、滞在型観光を促進します。



■ 高畑町裁判所跡地の完成イメージ図 ■ 吉城園周辺地区の完成イメージ図

● 奈良公園バスターミナルの運営

奈良公園バスターミナルは、観光バスによる渋滞を緩和するとともに、アメニティ(展望の良い休憩スペース、飲食物販店等)の充実や奈良公園周辺の歴史文化を学習できる施設として、観光客へのおもてなし環境を向上しています。今後は、奈良公園周辺における周遊環境を高め、大仏殿前駐車場の環境整備やぐるっとバス支援を進めます。

H31年4月13日オープン



■ 奈良公園バスターミナル



■ バスターミナル内駐車場

● 奈良のシカの保護・育成

県では100年後も人とシカがより良い関係で共生できるよう、奈良市や春日大社等と連携しながら、「奈良のシカ」の保護・育成に努めています。



■ 鹿苑の改修（完成イメージ図）

● 春日山原始林の保全

ナラ枯れや外来樹種の侵入などで荒廃が進む、特別天然記念物「春日山原始林」を守り再生するため、「春日山原始林保全計画」に基づき、保全に努めています。

■ 植生保護柵の設置



■ 後継樹育成



■ ナラ枯れ対策

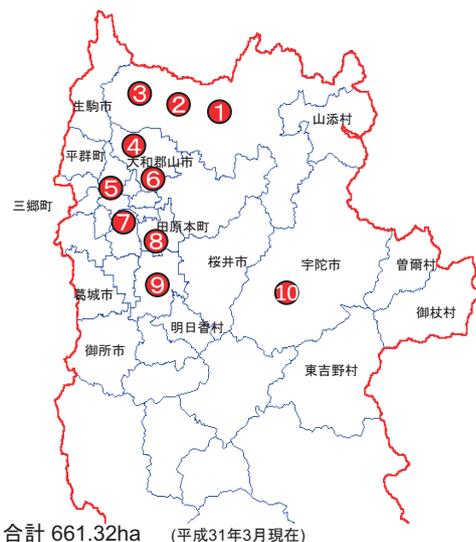


10. 県営公園等の取組

県営都市公園について

奈良公園、平城宮跡歴史公園を含め、県内には10の県営都市公園があります。

公園名	公園の種類	面積(ha)	所在地
① 奈良公園	特殊公園	511.33	奈良市
② 平城宮跡歴史公園	特殊公園	3.10	奈良市
③ 大淵池公園	総合公園	23.50	奈良市
④ 大和民俗公園	総合公園	22.60	大和郡山市
⑤ 竜田公園	都市緑地公園	14.00	斑鳩町
⑥ まほろば健康パーク	運動公園	11.80	大和郡山市・川西町
⑦ 馬見丘陵公園	広域公園	56.20	広陵町・河合町
⑧ 県営福祉パーク	近隣公園	2.20	田原本町
⑨ 橿原公苑	運動公園	10.20	橿原市
⑩ うだ・アニマルパーク	地区公園	8.20	宇陀市



馬見丘陵公園のにぎわいへの取組

馬見丘陵公園では、中和地域の観光、地域振興の拠点として、花と花を活かしたイベントによるにぎわいづくりを進めています。

●公園の魅力を引き出す多様なイベント

- ①馬見チューリップフェア（4月）
- ②馬見花菖蒲まつり（6月）
- ③馬見ひまわりウィーク（8月）
- ④馬見フラワーフェスタ（10月）
- ⑤馬見クリスマスウィーク（12月）



■チューリップフェア



■ひまわりウィーク



■クリスマスウィーク



●県民との協働による花の公園づくり（馬見丘陵公園花サポーター）

県民の皆様が公園づくりに参加できる公園を目指し、花木や草花の維持管理等を行うボランティアの花サポーターが活躍しています。

まほろば健康パーク屋外プールの膜屋根及び観客席等の整備

県内のプール拠点として、国民体育大会やインターハイ等の大規模大会を開催できるように施設整備を進めます。

- ①観客の熱中症対策や降雨対策としての膜屋根整備
- ②大規模大会に備えた観客席の増設(1496増)及び選手控え室の増設整備



■完成イメージ

(史跡及び名勝) 飛鳥京跡苑池の整備

飛鳥京跡苑池の遺構を整備するにあたり、先行して南東部のメインエントランスにおいてトイレ・休憩所を整備。第一期整備として、全容が明らかになる南池周辺を中心に整備を進めます。



■メインエントランス